

## 東京電力の事実隠蔽事案の徹底究明を求める決議

去る6月16日、東京電力が設置した第三者委員会は、福島第一原子力発電所の事故直後に『炉心溶融』が起きていたにもかかわらず、当時の清水正孝社長が「炉心溶融という言葉を使うな」と指示し、『炉心損傷』と説明していたとする報告書を提出した。

本事案は、『隠蔽』そのものであり、懸命に復興を成し遂げようとしている我々桑折町民さらには福島県民の感情を大きく逆なでするもので極めて遺憾である。また、一刻を争う重大局面に、東京電力上層部ほどの程度の危機感を持って臨んでいたものなのか甚だ疑問であると言わざるを得ない。

よって、ここに強く抗議するとともに、再検証による真相の徹底究明と再発防止を求めるものである。

以上、決議する。

平成28年6月27日

桑折町議会

東京電力ホールディングス株式会社  
代表執行役社長 廣瀬 直巳 様